



2010.6.12発行

2008年9月
原子力空母の
横須賀配備
2010年
今、私たちの町に
何が起きて
いるのか



発行●原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

〒238-0002 横須賀市大滝町1-26 清水ビル3階 横須賀市民法律事務所方
電話:046-827-2713 FAX:046-827-2731

もうひとつの
大切なこと

**核密約によって始まった
空母の横須賀母港は
ただちに見直しを。**

●2010年3月「核密約」の調査結果が公表され、米艦船が核兵器を搭載したまま在日米軍基地に入港していたことを否定できない、ご迷惑をお掛けしました、と岡田外務大臣は吉田市長に言いました。えっ、それで終わりですか？

●1973年、空母ミッドウェイが横須賀を母港とする際、核兵器を積んでいまずと米国が正直に言ったら、横須賀配備はありえなかった。なぜなら日本政府は表向き、核兵器の持ち込みは非核三原則によつて断る、と言っていたのですから。でも、核は積んでいないことにしようという日米両政府の「密約」があつて、空母は横須賀を母港としたのです。

●「密約」が明らかになった以上、「密約」によって成立した合意そのものを見直すのは当然のこと。そう思いませんか。



空母ミッドウェイが積んでいた核兵器のひとつ:B43核弾頭(水爆)
爆発力1メガトン 4.09m×直径0.46m 962kg